1

2

3

4

災害は忘れた頃にやってくる…
「県民防災の日」防災訓練

5

6

≪1～3 合川小学校≫　1 防災集会　2 消防署員による消火訓練　3 避難訓練
≪4～6 市民ふれあいプラザ≫　4 高所救出訓練　5 消防団員による救助訓練　6 応急救護訓練

5月26日の「県民防災の日」に合わせ、市内各地では防災訓練が行われ、参加者は有事の際にとるべき行動を確認し合いました。

合川小学校で防災集会

昭和58年5月26日に発生した日本海中部地震で、犠牲となった旧合川南小児童の慰霊を含めた「防災集会」が、合川小学校（藤嶋勇人校長、児童226人）で行われました。

集会では、藤嶋校長が「日本海中部地震では、皆さんの先輩にあたる合川南小の13人が津波の犠牲になりました。命を守る方法を学ぶとともに13人を弔い敬うのが今日の訓練。命を守ることについてしっかりと考えてほしい」とあいさつを述べ、全員で黙とうし、冥福を祈りました。

このあと、高学年の児童が地震や津波など、万が一の災害から身を守る方法について発表するなどして、防災意識を高めました。

今年オープンのコムコムでも

市民ふれあいプラザ「コムコム」で行われた防災訓練には、地域住民や市の職員など約70人が参加し、避難・通報訓練や避難場所開設訓練、応急救護訓練のほか、消防団員による「がれき」の下敷きになった人の救助訓練、消防署員による高所救出訓練など、様々な状況を想定した訓練が実施されました。

7

8

9

≪7 市役所本庁舎≫
7 災害対策本部を設置
≪8～9 阿仁合小学校≫
8 火災時の煙体験
9 児童たちによる消火訓練

訓練終了後に行われた閉会式で、津谷市長は「今日は実際の災害に備え、様々な訓練を実施したが、皆さんの訓練に取り組む姿勢、地元消防団の連携した活動を拝見し、たいへん心強く思っている。近年は、私たちの想定を大きく超える自然災害が発生しているが、その災害被害を最小限に抑えるためには、『自助』『共助』『公助』が、それぞれの役割を果たすことが大切」と強調し、最後に「この訓練を契機に、ご家族でも防災についての話し合いや情報共有をしてもらいたい」と期待を込めました。

地域の防災訓練等にご利用ください

今年度中に賞味期限を迎える災害用備蓄品を提供します

現在、市が備蓄している災害用備蓄品のうち、今年度中に賞味期限を迎える品目があります。

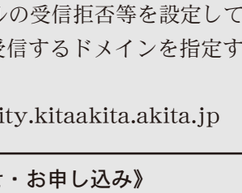
市では、市民の防災意識の向上を図るため、自治会・自主防災組織による備蓄の促進を目的とした、試食会や炊き出し訓練等に対して備蓄品を提供します。（先着順）

提供を希望する方は、ご連絡ください。

［提供品名］ パン缶詰

［物資詳細］ サバイバルパン24缶（1缶2個入）

［賞味期限］
平成28年12月
平成29年1月



差し迫る災害をいち早くお知らせします！

北秋田市防災情報メール

7月に入り、集中豪雨や台風などにより河川が増水しやすくなります。

市では、災害が差し迫っている際に発表する“避難勧告”などの避難情報や気象情報を、お持ちの携帯電話にメールでお知らせします。

いざという時に、慌てず速やかな行動をとれるよう、ぜひ登録をお願いします。

登録方法

QRコードを読み取り「**北秋田市防災情報配信システムのご案内**」にアクセスし、登録してください。

←QRコード

＜注1＞登録は無料ですが、通信費用は登録者の負担になります。

＜注2＞迷惑メールの受信拒否等を設定している場合は、個別に受信するドメインを指定する必要があります。

［ドメイン］ @city.kitaakita.akita.jp

《お問い合わせ・お申し込み》
総務課危機管理係 ☎62-6602